
テーマ：皆で高め合おう！「差異を学びに、違いを強みへ」と変える「ファシリテーション」
～国際協力を巡るジレンマを超えて～

□ 講師からのメッセージ：

立場や意見、あるいはバックグラウンドが異なる人々が協働しながら、国づくりや世界の発展に向けて協働していくには、どんな仕組み、道具、あるいはマインドセットが必要なのだろう？ 私たち一人ひとりには何が出来るだろう・・・

本セミナーでは、こうした問題意識を持って、マニラに拠点を置くアジア開発銀行にて、国際機関の経営の最前線で奮闘しつつ、非営利団体「官民協働ネットワーク Crossover」の代表として 20 年近く異業種間の対話を場を主催してきた講師とともに、「**差異を学びに、違いを強みへ**」と変えていく「**ファシリテーション**」について、具体的なケースを下に、学び合う時間をもちたいと思います。

□ 主催団体： APU 学生有志

□ 開催日時： 2019 年 6 月 7 日（金）
参加型セミナー 5 限(16:05-17:40)
懇親会 終了後

□ 開催場所： 参加型セミナー： F101

□ 講師： 池田洋一郎さん アジア開発銀行 総裁首席補佐官
官民協働ネットワーク Crossover 代表

□ 開催言語： 日本語 （質疑応答：英語も可）

□ 講師経歴

- 1977 年タイバング生まれ。2001 年早稲田大学政治経済学部卒業
- 2001 年に財務省に入省、予算編成等に従事。
- 2006 年、ハーバード大学ケネディスクールへの留学、公共政策修士号を取得後、財務省国際局にて金融危機対応や途上国の国造り支援に奮闘。
- 2011 年から 3 年間世界銀行に移籍し、バングラデシュ事務所やワシントン DC 本部勤務にて開発プロジェクトの成果管理を担当。2017 年 7 月にアジア開発銀行総裁首席補佐官に就任。
- 公務の傍ら、「官民協働ネットワーク Crossover」（<http://crossover21.net/co/>）を 2001 年に創設。代表として、組織、国籍、価値観の違い等、様々な壁を乗り越える力を高め、社会問題解決に向けた協働のきっかけを創り出すための勉強会、討論会等を多数主催し続けている。
- 著書に『ハーバード・ケネディスクールからのメッセージ』『バングラデシュ国造り奮闘記』（ともに英治出版）がある。



ADB ASIAN DEVELOPMENT BANK

1966 年に設立された国際開発金融機関。68 の加盟国からの出資金を元手に金融市場で債券を発行して調達した資金を、長期・低金利でアジア・太平洋の途上国の政府や企業に貸し付けるとともに、より良い政策作りに役立つ専門知識を提供することで、貧困削減や国の長期的な発展を支援している。職員数約 3,300 人。内、日本人は約 160 名。日本は最大の出資国でこれまで全ての総裁を輩出している。

官民協働ネットワーク
Crossover

2001 年に中央省庁若手職員有志により設立された任意団体。「立場や意見の異なる人々が協働しながら社会問題とともに解決していく環境を作ること」をミッションに、約 30 名の運営ファシリテーターが「対話のファシリテーション」の力を磨きながら、多彩な職業、年齢、国籍の参加者が一堂に集い社会課題について対話をする場を提供し続けている。